

## 【8つのビジョンと基盤整備】

### ② 災害・犯罪等からの安心・安全の実現

#### 【主なポイント】

- ▶ 危機管理体制を充実し、ハード・ソフトを組み合わせた防災・減災対策を着実に推進することで、激甚化・頻発化する自然災害への対応力を高め、災害に強い京都をめざします。
- ▶ 先端技術の積極的な活用を図り、地域住民や幅広い関係者が一体となって府民の防犯・交通安全意識の向上をめざすことで、犯罪・交通事故の起きにくい社会をめざします。

#### 【重点分野】

##### ■ 先進的な危機管理体制の構築と災害発生時の対応力の強化

(主要な方策)

- ・オペレーションルーム、国等の応援機関の専用スペース、リエゾン室等を確保した常設の危機管理センターの設置
- ・被災地域からの安全避難のための広域避難マニュアルの市町村との作成と、災害時における地域間連携の仕組みの構築
- ・花折断層帯地震の被害想定を踏まえた、大規模災害時における危機管理体制の構築
- ・災害時における子どもの安全確保や災害への対応能力育成のための、児童生徒や教職員向けの防災教育の充実
- ・過疎化・高齢化等による地域防災力の低下を踏まえた、災害発生時の地元企業等との災害対応・連携システムの構築

##### ■ ハード・ソフトを組み合わせた防災・減災対策の推進

(主要な方策)

- ・あらゆる関係者が協働して流域全体で行う「流域治水プロジェクト」の充実
- ・「宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）」等に基づく危険な盛土の規制等の推進
- ・京都府市町村災害復旧サポーターによる市町村への技術的支援の強化

##### ■ 原子力災害リスクへの対応

(主要な方策)

- ・原子力災害発生時の広域避難のための訓練による避難計画の検証、避難道路や放射線防護施設、避難退域時検査等に必要資機材の計画的な整備
- ・緊急時モニタリング体制について、情報通信・処理の高速化と訓練による強化

## ■ 地域防犯力・交通安全力の強化

(主要な方策)

- ・サイバー空間の安全・安心を確保するための「京都府警察サイバーセンター（仮称）」の新設
- ・大学の知見を生かした「ポリス&カレッジ」等の産学官連携による交通安全対策の推進
- ・学校等の関係機関と連携した、子どもたちの発達段階に応じた危険回避能力を高める防犯教育や教職員の危機管理能力を高める安全対策指導等の推進

### 【到達目標】

- ・「防災士資格取得者の人数」を新たに 800 人養成する  
(京都府による実態把握：1,819 人 (2022 年 6 月末))
- ・「刑法犯認知件数」を年間 15,000 件以下に維持する  
(京都府による実態把握：15,136 件 (2019 年))
- ・「年間の交通事故死者数」を 40 人以下 (2025 年) に減少させる  
(京都府による実態把握：51 人 (2021 年))